

チャイルド・ファンド・ジャパンだより

[スマイルズ] 2021年2月NO.49

SMILES

<https://www.childfund.or.jp>



ChildFund
Japan

チャイルド・ファンド・ジャパンは、1975年より、アジアを中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、家族と地域の自立を目指した活動をしています。

特集

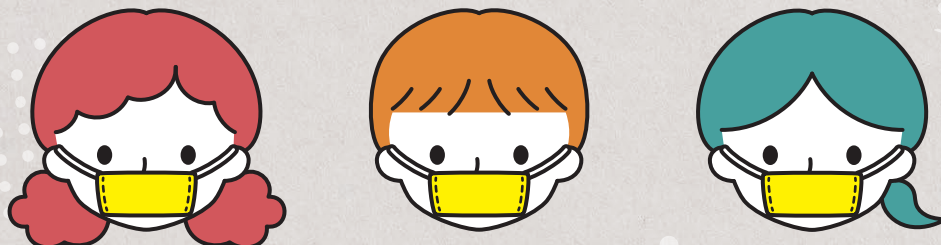
コロナ禍を生き抜く

支援地域の現状と

チャイルド・ファンド・ジャパンの支援

支援地域の現状と

チャイルド・ファンド・ジャパンの支援

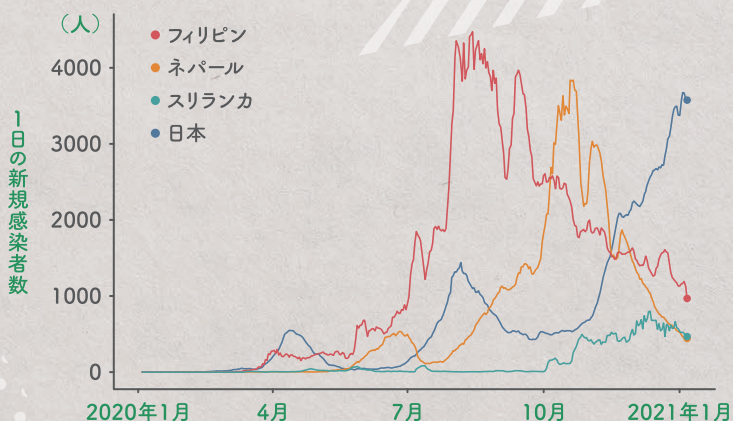


新型コロナウイルスという未曾有の危機に見舞われた2020年。世界中が見えない敵に恐怖し、もがいた1年でした。チャイルド・ファンド・ジャパンにおいても、これまでのような形での事業活動の実施が極めて困難になるとともに、支援地域の子どもたちやその家族、地域の人々は、感染拡大による命と生活の危機に直面しました。現在も、先行きの不透明な状況が続いていますが、支援地域では、子どもたちや家族、地域の人々が協力し合って、この困難を乗り越えようとしています。今号では、支援対象国の感染状況や対策、支援地域の様子や支援活動について、詳しくお伝えいたします。

各国の新型コロナウイルスの状況

フィリピン

フィリピンでは、1月に初めて感染者が確認されて以降、徐々に感染が広がり、3月12日に首都マニラのロックダウン、3月16日からルソン島地域全域の外出・移動制限が出され、学校も休校となりました。その後、制限の緩和と強化が流動的に繰り返されています。10月からは、自宅学習と教員の訪問指導などを組み合わせた授業が始まりました。



ネパール

ネパールでは、首都カトマンズを中心に感染が拡大し、3月には全国的なロックダウンが実施され、学校も休校となりました。その後、7月に解除、8月に再度ロックダウンと、感染状況に応じて対応が変更されました。

10月から11月にかけて、感染が急拡大しましたが、現在の感染者数はピーク時に比べると着目を見せ、対面での授業も再開しつつあります。事業地域は都市部からは離れた山間部であるため大きな感染の広がりは起きていませんが、地域の移動制限により通常の活動実施が遅れるなどの影響を受けました。

スリランカ

スリランカでは、3月下旬に全国で外出禁止令が発令され、5月下旬に夜間のみでの外出禁止に緩和されたのち、6月に完全に解除されました。学校は3月中旬から休校となっていたが、6月下旬から学年ごとに再開しました。

その後、感染の拡大はある程度抑えられていたものの、10月に入り工場でのクラスターが発生。それを皮切りに感染が急拡大し、現在は地区ごとの外出禁止令が発令されています。学校は一時休校となりましたが、現在は再開しつつあります。

--- 支援地域の様子とチャイルド・ファンド・ジャパンの支援 ---

ロックダウンによる移動制限や学校の休校などにより、子どもたちやその家族は、生活に大きな影響を受けました。チャイルド・ファンド・ジャパンでは、支援地域の状況に合わせて、①地域や学校での感染予防、②家族の食糧確保、③子どもたちの教育活動の維持を中心に、2020年度に予定されていた活動を新型コロナウイルス対策支援に変更して実施しました。

フィリピン

PHILIPPINES

感染予防

フィリピンでは、センタースタッフとチャイルドが協力しながら、子どもにもわかりやすい感染予防のポスターを作成し、マスクや消毒剤とともに各家庭に配布しました。また、地域の保健所と協力して、地域内の消毒活動、感染者が出た場合の対応など、行政が行う感染対策についての住民への情報提供をサポートしました。

センタースタッフとチャイルドが一緒に作成した感染予防のポスター ▶



食糧確保

ロックダウンによって移動ができず食糧の購入などが困難になった地域では、4月以降、地方自治体とともに緊急の食糧配布を行いました。また、これまで普及を進めてきた家庭菜園の整備を強化し、種の配布も行って、家庭での食糧自給対策に力を入れました。

◀ 配布された食糧(米、缶詰、インスタント麺など)

教育活動の支援

フィリピンでは、「予防接種ができるまで学校での対面授業を行わない」という大統領の方針を受けて、各家庭で勉強を行えるように準備が進められました。しかし準備は大幅に遅れ、6月から始まる予定の新学期は8月開始予定となり、これがさらに延期されて10月に新学期となりました。



親たちは学校へ
出向いて教材を

▲ 学校で先生から家庭学習について
説明を受ける親たち

受け取り、家庭での勉強方法について先生から指示を受けました。センターでは、学用品の配布のほか、子どもたちの勉強を見るのが困難な親たちをサポートしたり、家で使う机やイスを支給したりするなどの支援をしています。また、教材の印刷が間に合わない学校に対して、教材作成支援も行いました。

子どもたちは家庭学習後に練習帳を学校に提出しなければなりません。12月現在、ほぼすべてのチャイルドがしっかりと練習帳を提出することができます。この形式の勉強方法は2021年6月半ばまで続く予定です。

◀ 家で学習をするチャイルド



教育活動

学校は3月19日から休校となり、本来なら4月から始まる新学期も始められないまま授業は行えなくなりました。

シンドゥパルチョーク郡にある事業地では、感染がすぐに広がることはなかったため、5月頃から町の教育委員会の判断で子どもたちへの教科書などの配布が行われました。一部の学校では、先生が子どもたちの住む地域を回って自習活動を見て回るなどしました。

しかし、8月から9月にかけて2度目の全国的なロックダウンが実施され、再び休校となりました。現在は、学校ごとに再開の判断が行われ、対面での授業も再開しつつあります。



▲ 9月後半から再開された教室での授業の様子。教室内の生徒の数を制限して実施。

感染予防

この間、首都カトマンズの感染拡大が大きかったため、ネパール事務所も活動を控えていましたが、9月にロックダウンが緩和された後、ようやく感染予防の個人向けの物資（マスク、消毒剤、予防パンフレット）を配布するとともに、学校の再開を見越して学校での感染予防のための資材（消毒液とスプレー器具、非接触型体温計、清掃用具など）を配布しました。事業地へ訪問できない間は、現地のパートナーNGOと連絡を取りながら現地の状況を把握し、対応策を準備してきました。



▲ 授業再開に備え、教室に消毒剤をまく



▲ 学校に設置された手洗い用の水と、正しい手洗いの方法が書かれたポスター

支援活動

11月以降、遅れていた通常の支援活動（各種の研修活動など）も徐々に再開しています。外務省NGO連携無償資金協力と皆さまからのご支援で建設中の校舎は、幸いなことに建設事業への規制が緩和されていたために工事が進み、2021年1月末の完成が見込まれています。



▲ 完成間近な校舎（ジャンタタ校）



▲ 災害避難訓練（けがを想定した子どもの救援実習）

感染予防

スリランカにおいても、感染予防対策として、地域住民へマスクや消毒剤などの衛生用品の配布を行いました。また、保健所の関係者に対しても衛生用品やオフィス用の消毒機材を配布し、感染予防を徹底しています。

さらに、政府やユニセフなどと連携し、感染予防のための動画も作成しました。SNSで公開したほか、4～5月にはテレビでも放映され、広く感染予防について訴えることができました。



▲ 感染予防のマスクを受け取るチャイルド

教育活動の支援

教育面では、休校措置がたびたび実施されたことを受け、家庭学習のための支援を重点的に行いました。オンラインやラジオを活用した自宅学習を支援するとともに、インターネットを利用できない子どもたちに対しては、家庭学習キットを配布するなどの支援を行い、合計で約44,600人の子どもたちに支援を行いました。



▲ スタッフから食糧の配布を受ける家族

子どもの保護・経済支援

コロナ禍においては、虐待の防止などの「子どもの保護」も大きな課題の1つです。スリランカでは、子どもの保護のためのネットワークを構築し、情報収集や問題への対応が迅速に行える体制を整えました。子どもたちに対して、オンラインでのカウンセリングも実施しています。

また、新型コロナウイルスの影響で特に生活が困窮した家庭には、現金の支給や食糧の配布も実施。特に、路上で生活する子どもたちには、寝泊まりができる場所を提供するとともに、衛生キットや食糧の配布を行いました。

----- コロナ禍を生き抜く子どもたちを支え続ける -----

新型コロナウイルスは、支援地域各国の子どもたちの生活と教育に大きな影響を与えています。感染者数が減少している地域もあるものの、親の収入減によって生活が困窮している、依然として対面での授業が受けられないといった状況が見られます。チャイルド・ファンド・ジャパンは、子どもたちの命と教育を守り、コロナ禍にあっても、未来の可能性が失われることのないよう、これからも活動を続けてまいります。

お知らせ

新型コロナウイルスの影響について

各国の休校措置により、学校の2020年度の年度末が変更となる見込みです。現時点での情報は以下のとおりです。これにともない、成長の記録の送付も遅れる見込みです。

フィリピン 2021年6月の見込み(例年は3月)

ネパール 2021年5月以降の見込み(例年は3月)

スリランカ 未定(例年は11月)

※卒業時期も変更となる見込みです。

各国との郵送物にも遅延が発生しており、お手紙などの送付が大幅に遅れる可能性があります。

また、東京事務所では在宅勤務を継続しており、お問い合わせへの対応等に通常よりもお時間をいただいております。

皆さまには、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

支援者の皆さまとの新しいコミュニケーション 動画やオンラインでの活動報告!

新型コロナウイルスの影響は事業地だけではなく、日本での活動にも影響を及ぼしています。そのうちの1つが活動報告会。活動の成果をご報告するために、直接学校などに訪問する場合がありますが、現在は対面での報告会の開催が難しくなっています。

そうした中、チャイルド・ファンド・ジャパンでは、少しずつ新しい形での報告の仕方を模索しています。



パワーポイントを活用して、活動報告動画を作成!



ご支援いただいている学校の1つ、明治学院東村山高等学校の皆さんには、パワーポイントの録音機能を使った、解説付きスライドショー動画をお届けしました。

職員にとっては初めての試みでしたが、無事に完成。生徒の皆さんから、「チャイルドの写真や本人からのメッセージを見ることで、支援する意味について改めて考えることができた」といった感想をいただくことができました。

動画授業でも参加型に!

ご支援いただいている青山学院初等部では、毎年11月に、1日を通して英語で学習する「グローバルデー」という日を設けています。チャイルド・ファンド・ジャパンも、例年、学校で英語を交えた授業を行っています。

しかし、こちらも今年は動画授業に変更。先ほど紹介したパワーポイントの手法を使いながらも、途中途中で職員の掛け合いをはさみ、子どもたちが興味を持続できるようにしました。

また、支援地域の現状を表したイラストを見ながら、どんな課題があるか考えるアクティビティを取り入れるなど、動画でも参加型の授業になるように工夫しました。

対面の報告会でもオンラインを活用!

児童養護施設「バット博士記念ホーム」へは、職員2名が訪問し、対面での報告会を行いました。*

対面での報告会ではあるものの、感染防止を徹底するために、ホームのスタッフの方がオンラインをうまく活用。職員が説明を行う部屋には、少人数の子ども



ちを集め、そのほかの子どもたちは、別の建物からその様子をライブ中継で見るといった形でした。

人が密集するのを避けつつも、話をする職員は目の前の子どもたちとコミュニケーションをとることができ、話す側としてもとても話しやすい形式でした。スタッフの皆さんのアイデアで、有意義な報告会にすることができました。

*対面での報告会は、感染状況に一定のおさまりが見られる場合のみ、相談の上、実施しています。

フィリピンで発生した台風・洪水被害への緊急支援を行いました

2020年11月11日～12日、台風22号がフィリピン北部のルソン島に上陸しました。センター44があるオーロラ州では、激しい雨と暴風に見舞われ、電柱の倒壊と停電、洪水や地すべりなどが発生しました。

支援を受けている家庭でも、屋根が吹き飛ばされるなど、家屋へ大きな影響がありました。低地に住む家庭では、家庭菜園の作物にも大きな被害が発生しました。

こうした被害に対し、チャイルド・ファンド・ジャパンでは、緊急支援を行いました。450世帯にお米の食糧支援を行うとともに、家屋が倒壊してしまった家庭には、再建のための資材支給の支援も行っています。



チャイルド・ファンド・ジャパンが行う支援事業の1つに「防災」があります。台風の多いフィリピン、地震の多いネパールを中心に、防災に関する研修や緊急持ち出し袋の支給などを行ってきました。

こうした支援によって、支援地域の人々の防災に対する意識や能力が向上し、今回の台風でも、被害が拡大する前に避難所にしっかりと避難するなど、迅速に行動をとることができました。家屋や菜園へは大きな被害があったものの、こうした各家庭の適切な行動によって、人的な被害はいっさい発生しませんでした。

みなさん、はじめまして!

東京事務所の新入職員をご紹介します!

- ① 趣味や特技など
- ② これまでに行ってよかったところ
- ③ 今後に向けて一言



長谷川 栄吾 はせがわ えいご
コミュニケーション・マーケティング部
支援者サービスチームリーダー

- ① キャンプツーリング
- ② 竜泊ライン、オロロンライン、ミルクロード
- ③ 新システム構築や支援状況の変化を踏まえ、柔軟に対応していきたいと思っています。



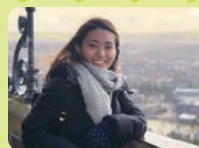
荒牧 萌未 あらまき もえみ
コミュニケーション・マーケティング部
支援者サービスチーム

- ① 好きな音楽に合わせて踊る、スペイン語
- ② トルコのカップドキア
- ③ 事業地、日本の子ども達が、より前向きな気持ちで自分の将来や海外のことに目を向けられるよう手伝いたいです。前職は教員!



藤井 翼 ふじい つばさ
コミュニケーション・マーケティング部
広報担当

- ① 学生時代からアカペラコーラスをやっています。
- ② モロッコ(砂漠のテント泊が楽しかったです)
- ③ 前職では小学生向けの教科書をつくっていました。その経験を活かして、皆さんに分かりやすく情報発信していきたいと思っています。よろしくお願いします!



ウォルシュ 佑依
うおるしゅ ゆい
支援事業部

- ① 旅行
- ② キリマンジャロの頂上(数年前に友人と登山しました)
- ③ 入職前は大学院で、子ども支援を中心とした途上国開発学を学んでいました。この度チャイルド・ファンド・ジャパンの一員になることができとてもうれしく思います!

インフォメーション コーナー

お知らせ

チャイルド・ファンド・アライアンスに
新しい仲間が増えました

子どもたちの支援に取り組む団体の国際的なネットワーク「チャイルド・ファンド・アライアンス」。チャイルド・ファンド・ジャパンは2005年より加盟し、各国の団体と連携しながら事業活動を行っています。

2020年11月、このチャイルド・ファンド・アライアンスに、イタリアの団体「WeWorld」が新しく加盟しました。これによって加盟団体数は12となり、支援対象は70カ国以上、約2,300万人に拡大しました。

チャイルド・ファンド・ジャパンは、新しい仲間とも連携し、引き続き、子どもたちを支える活動を進めていきます。



お知らせ

領収証の発送が完了しました

2020年にいただいたご寄付の領収証の発送が完了いたしました。チャイルド・ファンド・ジャパンは、「認定NPO法人」に認定されており、ご支援くださる皆さまには、所得税、法人税、相続税などの税制上の優遇措置を受けていただくことが可能です。特に個人の方がチャイルド・ファンド・ジャパンに寄付をした場合、最大で寄付金額の約40%を、所得税から控除できます。一般的に、税額控除方式を選択されると所得控除方式より大きな減税効果が見込まれます。詳しくは、「寄付金控除について」のページをご覧ください。

<https://www.childfund.or.jp/support/deduct.html>

チャイルド・ファンド・ジャパン 寄付金控除

検索

お知らせ

ご自宅の物品が寄付になります！

ご自宅に、書き損じたハガキや未使用の切手、古本、アクセサリなどはありませんか。チャイルド・ファンド・ジャパンでは、ご不要になった物品の寄付を受け付けています。ご自宅に眠ったお品物で、子どもたちを支えることができます。

書き損じハガキや年賀状、未使用の切手



➡ 「チャイルド・ファンド・ジャパンの事務所」へお送りください。

〔送付先〕〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5 チャイルド・ファンド・ジャパン ハガキ係宛

古本、CDアルバム、ゲーム



➡ 「チャリボン」へお送りください。

<https://www.childfund.or.jp/support/usedbook.html>

charibon



アクセサリなどの物品



➡ 「お宝エイド」へお送りください。

<https://www.childfund.or.jp/support/otakaraaid.html>

家にある「お宝」でNPOに寄付できるプログラム
お宝エイド®



ChildFund
Japan

Vision Mission

チャイルド・ファンド・ジャパンは
ここに掲げるビジョン(目標)、ミッション(使命)に
基づいて活動します。

ビジョン(目標)

すべての子どもに
開かれた未来を約束する
国際社会の形成

ミッション(使命)

生かし生かされる
国際協力を通じて
子どもの権利を守る

チャイルド・ファンド・アライアンス

ChildFund
Alliance

人種、宗教、性別、国籍を問わず世界の子どもたちに、効果的な支援活動をするためのネットワークで、子どもたちに向けたスポンサーシップ・プログラムを行う12団体から構成されています。チャイルド・ファンド・ジャパンは2005年4月に加盟しました。

チャイルド・ファンド・ジャパンより ^{スマイルズ} SMILES

特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン
〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5
理事長／長山信夫 事務局長／武田勝彦
TEL. 03-3399-8123 FAX. 03-3399-0730
E-mail: inquiry@childfund.or.jp
URL: <https://www.childfund.or.jp/>

2021年2月発行
(デザイン)
モスデザイン研究所
(印刷)
吉原印刷株式会社